

吉母藻場保全グループ (山口県下関市)

● 活動項目

藻場の保全 (母藻の設置、食害生物(ウニ)の除去、モニタリング 他)

● 組織の構成

漁業者、山口県漁協吉母支店 (18名) (サポーター:下関市水産課)

● 地域の現状・課題

- ・吉母地区は山口県西部に位置し、響灘に面している。
- ・主な漁業は素潜りによる採貝・採藻で、アワビやサザエ、ウニ、ナマコ、アラメなどを漁獲している。
- ・かつて、沿岸にはアラメ場が広がっていたが、平成25年の高水温により藻場が衰退した。
- ・また、現在、藻場の回復を遅らせる主な原因として、ウニ類の過剰な摂食が課題となっており、その対策が求められている。



モニタリング状況

藻場が見られる場所もあるがアラメは少ない

● 活動の内容

- ・平成25年に組織を設立し、母藻の設置やウニ類の除去をメインに活動している。
- ・母藻の設置:アラメの成熟葉を採取して、網袋(アサリ袋)に詰めたものをブロックに結着し、設置した。
- ・ウニ類の除去:ムラサキウニを対象として、素潜りにより手カギなどで採集したものを、風乾処理している。



アラメ母藻の採取



母藻設置の準備



ウニ類の除去



除去したウニ類

● 活動の効果

- ・ウニ類の集中的な除去を行ったことにより、衰退したアラメ場が回復した。
- ・平成28～29年度には、回復したアラメ場から母藻を採取し、他の活動区域に活用することができた。
- ・効果的な藻場の保全方法について検討し、より効率的な活動を展開する必要がある。
- ・今後、先進事例や専門家の意見を取り入れながら活動を継続する。



回復したアラメ場